



ぎふ労福協

岐阜県労働者福祉協議会

編集発行人／筒 井 和 浩

vol. 118

2022.1.1

岐阜市鶴舞町2-6-7
ワークプラザ岐阜内
TEL(058)248-6029
FAX(058)245-2410【岐阜労福協機関紙】 連合岐阜・東海労働金庫・こくみん共済coop・岐阜県勤労福祉センター <http://www.gifu-rofuku.jp/>

岐阜県労働者福祉協議会
会長 筒井和浩

新年の
ごあいさつ

岐阜県労働者福祉協議会に集う会員の皆さん、日頃から労働者福祉運動を支えていただいている関係団体の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

ご家族の皆さんと共に幸多き年となりますよう、ご祈念申し上げます。

さて、昨年は一昨年から続く「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大による第5波の襲来で、医療提供体制は、医療崩壊が目前まで迫る危機的な状況となりました。

医療関係者、福祉・介護職場の関係者、自治体関係者はじめ、コロナ対応に従事された全ての皆さまの労苦に敬意を表するとともに、コロナにより命を落とされた方々の御靈に哀悼の誠をささげます。

岐阜県における新型コロナワクチン2回目の接種終了者は、全国平均を上回る接種率であり、感染状況の収束に向け、早期の3回目接種、経口薬の治験と承認が進むことを願うばかりであります。また、マスクの正しい着用、屋内での換気、手指の洗浄と消毒、他者とのフィジカルディスタンスの確保、感染対策ができるお店の利用等、これまでの感染対策を緩めることなく徹底することで、医療提供体制の確保や感染対策と経済の両立につながるものと思います。

新年を迎えるにあたり、干支について調べてみました。2022年の十干は「壬(みづのえ)」十二支は「寅

(とら)」の年であり、干支は「壬寅(みづのえとら)」となるそうです。壬寅の持つ意味は、厳しい冬を越えて、芽吹きを始め、新しい礎となるイメージだそうです。私たちも感染対策の徹底をしっかりと行い、社会全体で一刻も早いウイズコロナ・アフターコロナ社会が実現する年となるよう願いたいと思います。

労働者福祉協議会の運動は、①安心して働きくらせる社会をめざして、②労働者福祉事業の促進と共助の輪の拡大、③支えあい、助けあう地域共生社会の実現に向け、労福協(中央、各都道府県、支部)労働福祉事業団体(ろうきん、こくみん共済coop、会館協議会)連合(本部、地方、地協)と連携し取り組みを進めています。更にはNPO団体との連携も強化しています。3つの大きな目標に到達できるまで、会員各位、会員団体、関係団体にご協力いただき共に歩みを進めていくことをあらためてお伝えします。

また、岐阜労福協は2023年に設立70周年を迎えます。69年目となる本年は70周年を迎える重要な準備の年と位置付け、先輩諸氏の尽力により岐阜の地に労働者福祉運動が定着してきたことに思いを巡らせ、活動していきたいと思います。

最後に、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

2021年度 第1回岐阜労福協産別代表者会議開催

岐阜労福協では、中央労福協の「2021全国福祉強化キャンペーン」と労働福祉事業団体の事業推進と利用拡大に向けた取り組みの一環として、10月12日(火)15時30分より、「ワークプラザ岐阜」5階大ホールにおいて各産別代表者18名の出席により、2021年度第1回岐阜労福協産別代表者会議を開催しました。岐阜労福協からは、会員産別に対して、以下の7項目について要請しました。



▲筒井会長の挨拶

1. 労働福祉事業団体の広報・宣伝や事業推進の取り組みについて

- (1) 貴組織や加盟労組において、定期大会の運動方針に、労働福祉事業団体の事業推進や利用拡大に関する方針の記載や補強をお願いいたします。
- (2) 貴組織や加盟労組の取り組みに関する理解を深めるために、定期大会の議案書を各労働福祉事業団体の担当職員に渡していただきますようお願いいたします。
- (3) 貴組織や加盟労組と各労働福祉事業団体との更なる連携や、利用促進に向けた取り組みをお願いいたします。
- (4) 貴組織や加盟労組の各種会議資料や機関紙・誌等に、各労働福祉事業団体の広告の掲載をお願いいたします。



▲産別代表者会議の様子

(5) 貴組織や加盟労組において、各労働福祉事業団体の事業についての研修会や説明会を企画、開催していただきますようお願いいたします。

(6) 労働者福祉運動の担い手の育成に向け、岐阜労福協や労福協支部が主催します各種セミナーやイベントへの参加をお願いします。

(7) 上記の取り組みについて、貴組織から加盟労組にご周知下さいますようお願いいたします。

2. 各福祉事業団体の利用拡大・促進の取り組み要請項目については、以下の通りです。

(1) 東海労働金庫

- ①家計の見直し運動
- ②資産形成
- ③ろうきんアプリ

(2) こくみん共済coop岐阜推進本部

- ①団体生命共済
- ②こくみん共済・長期生命共済
- ③マイカー共済・自賠責共済
- ④住まいの共済(火災共済・自然災害共済)

(3) 岐阜県勤労福祉センター

- ①ワークプラザ岐阜会議室の利用拡大
- ②ライフサポートセンターぎふの取り組み周知

各要請項目について全体で確認し、16時25分に終了しました。

労福協 土岐支部・中恵支部第2回統合準備会開催

7月29日(木)18:30より、瑞浪市地域交流センターときわにおいて、3月に続き第2回支部統合準備会が開催されました。当日の支部統合準備会は、支部四役(土岐支部5名・中恵支部5名)とオブザーバーとして岐阜労福協より事務局長・次長2名が参加し、計13名の出席で開催されました。

冒頭、県労福協櫻井事務局長の挨拶で始まり、土岐支部加藤支部長、中恵支部塩寺支部長からは、2021年6月の支部定期総会において、1年後の支部統合に向けた議論を進めていくことが確認された旨、報告がありました。また、中恵支部下原事務局長より、今後10年程度を見て、効率的な運動の推進に寄与し、福祉運動の連携が進む会員への深化される統合を目的とする趣旨の提案があり、全体で認識の統一が図られました。

★下原事務局長の司会により、以下の課題について確認されました。

1. 支援・協力団体との関係について
2. 球技大会・文化講演会・研修会等について
3. 補助金制度について
4. 予算・財政について
5. 役員体制・事務局について



▲統合準備会の様子





第17回岐阜県社会貢献顕彰者追悼式開催

10月15日(金)11:30より、社会貢献顕彰碑前で追悼式を執り行いました。

今年度は、新たに銘板を奉納される方ではなく、現在顕彰碑に奉納されている顕彰者は、22名となっています。追悼式は、参列されたご遺族11名と顕彰委員会委員の20名と併せて31名の出席により、櫻井事務局長の進行により、厳かにすすめられました。

冒頭、故人を偲び出席者全員で黙祷を捧げ、顕彰委員会の筒井委員長より、岐阜県における労働運動や社会運動、平和と民主主義を守る運動に貢献された先人の靈を慰め、その功績を偲ぶために建立された顕彰碑「やすらいの碑」の説明と参列者への感謝を伝える挨拶がありました。

その後、ご遺族ならびに参列者全員、顕彰碑に献花を行い、追悼式を終りました。

追悼式終了後、ご遺族にはささやかな食事をしていただきながら、ひと時故人を偲んでいただきました。



▲やすらいの碑



▲筒井会長の挨拶



▲奉納されている銘板



▲参列者黙祷



▲追悼式の様子



▲追悼式の様子



▲ご遺族のみなさん

労福協 土岐支部・中恵支部第3回統合準備会開催

11月24日(水)18:30より、瑞浪市総合文化センターにおいて、7月に続き第3回支部統合準備会が開催されました。

当日の支部統合準備会は、支部四役(土岐支部6名・中恵支部6名)とオブザーバーとして岐阜労福協より事務局長・次長2名が参加し、計15名の出席で開催されました。

冒頭、県労福協櫻井事務局長の挨拶で始まり、土岐支部加藤支部長、中恵支部塩寺支部長からは、本日決定する来年の結成大会日に向けて着実に準備を進めていく旨の意思表明があり、全体で認識の統一が図られました。

★下原事務局長の司会により、以下の課題について確認されました。

- 1.新役員体制について
- 2.結成大会について
- 3.解散大会について
- 4.結成大会議案書作成関連について
- 5.今後のスケジュールについて



▲統合準備会の様子



勤労者チャリティー文化講演会開催

11 月17日(水) 18:30より「じゅうろくプラザ5階大会議室」において、講師に総合内科専門医『おおたわ史絵』氏を招き、『コロナ禍での健康生活のコツ』と題し、勤労者チャリティー文化講演会を開催しました。今年度の文化講演会の開催にあたっては、昨年と同様①例年のような500名規模の参加者を募る講演会は開催できないこと。②100~200名規模の会場で半数程度の定員とし、県下6会場で開催し、公には一般公募は行わないこと。③万が一の感染拡大防止策として、参加者の連絡先を把握することなどとしました。このため、withコロナ時のイベントの在り方として、あらゆる状況の変化のリスクを回避しつつ、開催目的に沿ったものとするため、講師を岐阜会場に招き、オンラインで県下5会場にライブ配信する、これまでにない形式で開催しました。

講師は、前年度アンケート結果を尊重し、山崎直子氏を第1候補としスケジュール調整を行いましたが、調整が困難であったことから、第2順位の「おおたわ史絵」氏を選定しました。「おおたわ史絵」氏は、内科医師の難関総合内科専門医の資格を持ち、近年では、少年院、刑務所受刑者たちの診療にも携わる数少ない日本のプリズンドクターです。現代社会の流行から、犯罪医学まで幅広い知識はテレビメディアでの評価が高く「信頼できる女性コメントーター」として第1位に選ばれています。

講演では、コロナウィルスに感染しないために役立つ栄養素として、キノコ類などのビタミンD2や、しゃけ・鶏卵・イクラなどのビタミンD3が良いこと、さらにそのビタミンDは、皮膚に太陽光を当てることでも作られることなど、マスメディアでは話をされていないことを聞くことができました。また、最後にリラックス体操を参加者全員で行い、終始和やかに聞くことができました。

各支部(会場)の来場者とチャリティー募金は、以下の通りでした。

岐阜支部	66名	20,176円
西濃支部	21名	7,189円
中濃支部	12名	3,032円
土岐支部	41名	9,968円
中恵支部	26名	6,686円
飛騨支部	46名	6,600円

岐阜県下総合計で、212名の参加 53,651円の募金にご協力いただきました。ありがとうございました。

募金は、被災地の復興支援に役立てさせていただきます。

支部役員ならびに会場設営・運営にご協力いただいた皆様には、感謝を申し上げます。



▲講師のおおたわ史絵氏



▲筒井会長の挨拶



▲体操をする会場の様子

2021
年度

中部労福協役職員研修会に参加

2021年度の中部労福協役職員研修会は、11月18～19日に高山市の飛騨地区労働者福祉会館（ろうかん）で開催され、23名が出席しました。

研修会では、中部労福協野々口事務局長の開会挨拶に続き、宮越副会長の挨拶の中では、開催県となった岐阜労福協ならびに飛騨支部に対し御礼の言葉が述べられました。開催県代表として筒井会長の挨拶の後、開催県の取り組み報告として、井端敏之前事務局長により「岐阜労福協のライフサポート事業の取り組み」について報告がされ、参加者からの質問や熱心にメモをとる姿が見られました。また、各県労福協のライフサポート事業の取り組みについても活発な意見交換が行われました。



▲宮越副会長の挨拶



▲筒井会長による歓迎の挨拶



▲井端前事務局長の講演



▲研修会場の様子

岐阜県への 要請書提出



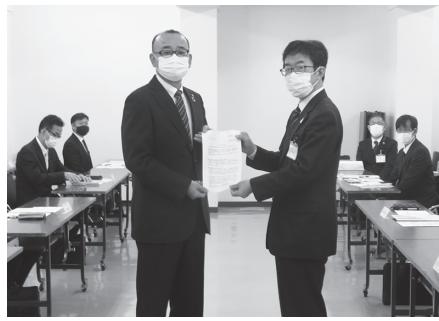
11月24日（水）10:00より、岐阜県水産会館中会議室において、2021年度の岐阜県への要請書を提出しました。

要請内容は、1. 地方におけるSDGs（持続可能な開発目標）の推進、2. 被災者支援と防災・減災の取り組み、3. 格差の是正・貧困のない社会に向けたセーフティーネットの強化、4. 消費者・県民の安全・安心の取り組みの4つの課題9項目でありました。

冒頭、筒井会長の挨拶のあと、要請書の受け渡しが行われ、続いて櫻井事務局長から要請内容の説明を行いました。岐阜県側からは、崎浦商工労働部長より要請書の受領挨拶を受け、続いて各課担当責任者から要請書に対する回答内容についての説明がありました。回答説明後に質疑応答が行われ、要請行動は10:47に終了しました。



▲要請会場の様子



▲要請書の受け渡し

中央労福協 第65回定期総会

2021年11月26日(金) 東京都内日暮里のホテルラングウッドにおいて中央労福協第65回定期総会がハイブリッド形式で開催されました。

冒頭、神津中央労福協会長挨拶の後、議長により代議員216名に対し、会場参加・web参加・委任状の総数210名により総会成立が宣言されました。

岐阜労福協からは、筒井会長、櫻井事務局長が代議員としてweb参加し、次長2名がweb傍聴参加しました。

第1号議案では、南部事務局長より2020~21年度活動報告の提案があり、第2号議案の2021年度会計決算報告・2021年度会計監査報告と併せて、賛成多数により承認されました。

活動報告では、11月16日に文部科学省に対し奨学金返済と教育費の負担を軽減する税制支援を求める要請書とオンライン署名の中間報告(11月16日現在、13,846筆)を手渡した旨の報告がありました。

また、中央労福協のイルカをモチーフとしたマス



▲中央労福協
芳野友子新会長



きょうちゃん

コットキャラクター(きょうちゃん)の紹介動画が発表されました。(中央労福協ホームページをご覧ください)

第3号議案では、南部事務局長より2022~23年度活動方針(案)、第4号議案の2022年度予算(案)が小川事務局次長より提案されました。

活動方針(案)では、特に中央労福協が70周年を迎えた2019年に策定された労福協の理念を確認し、ポストコロナ社会を見据えた運動を前進させるため「2030年ビジョン」の実現をめざし、加盟団体や関係する諸団体と連携をはかり2年間の活動を進める強い意思表明がされ、予算案と合わせて満場一致で承認されました。

今年度は役員改選期にあたり、役員改選(案)が第5号議案として提案され、神津会長の後任に、芳野友子会長が選任されました。

最後にスローガンが採択され、定期総会は終了しました。

大会スローガン

- ・社会的セーフティネットを強化して貧困や分断をなくし、コロナ危機を乗り切ろう！
- ・教育費負担を軽減し、だれもが安心して学べる社会を実現しよう！
- ・労働者自主福祉運動の役割を發揮し、地域に共助の輪を広げよう！

「労働組合のための会計税務研修会」のご案内

日 時

2022年3月25日(金曜日) 15:00~17:00

場 所

ワークプラザ岐阜 5階 大ホール

講 師

中央労福協顧問税理士 関口邦興氏

内 容

この間の税制改正や労働組合特有の税務問題について



第24回岐阜労福協チャリティーゴルフコンペ開催



12月6日(月)あいにくの雨の中、毎年恒例の岐阜労福協チャリティーゴルフコンペを「ぎふ美濃ゴルフ俱楽部」において開催しました。例年の11月開催を12月に延期したため、寒さに加えしっかり雨対策も整えて参加いただきました。

今大会は労福協各支部・事業団体・産別代表により、17チーム62名の参加があり、各支部での予選会を勝ち残った精銳や腕自慢のみなさんがプレーを楽しみました。

結果、団体戦は、優勝:岐阜県退職者連合、準優勝:岐阜支



【優勝】岐阜県退職者連合



【準優勝】岐阜支部



【3位】飛騨支部

部、3位:飛騨支部となりました。

また、個人戦は、優勝:織部一臣さん(基幹労連)、準優勝:原光彦さん(中恵支部)、3位:林伸之さん(西濃支部)でした。

コンペでは、ショートコースワンオンチャリティー募金を行い、57,201円の募金協力がありました。協力いただいた募金は、義援金として東日本大震災の被災地をはじめとした全国各地の被災地へ寄付をさせていただきます。

第57回岐阜県労働者球技大会



10月17日(日)各務原市総合運動公園において、第57回岐阜県労働者球技大会ソフトボール県大会を開催しました。

今年もコロナ禍のため、各支部が予選大会を開催することができず、前年度優勝・準優勝、支部推薦の5チームの参加により、熱戦が繰り広げられました。開会式では、主催者を代表して筒井会長の挨拶につづき、前年度優勝チームと準優勝チームによる優勝杯・準優勝盾の返還を行い、9時30分より試合開始、決勝戦は昨年と同一の組み合せとなり、11時45分より決勝戦が開始されました。

結果、6対5の接戦の末、優勝は三菱電機中津川製作所三菱工機チーム、準優勝は丸順労働組合チームに決定し、昨年の雪辱を果たされました。けがをされた方もなく、県大会は無事終了しました。

来年は、多くのチームの参加をお待ちしております。



【優勝】
三菱電機
中津川製作所
(三菱工機)



【準優勝】
丸順労働組合



開会式の様子

11月14日(日)10:00より岐阜市内マーサボウルにおいて、第57回岐阜県労働者球技大会ボウリング県大会を開催しました。今年も新型コロナ感染防止のため、レーンの定員を制限して開催しました。支部予選を勝ち抜いた上位2チーム、予選大会が開催できず支部推薦で参加されたチーム、昨年の県大会準優勝チームの合計8チームで熱戦が繰り広げられました。1人3ゲーム、チーム4名の合計点数により団体戦を行い、結果、優勝:カワボウ労働組合(総得点2452点)準優勝:TYK労働組合(総得点2044点)となりました。また、個人賞は優勝:加納裕二さん(カワボウ総得点670点)、準優勝:平川玲さん(カワボウ)総得点623点、3位:鷲見峰輝さん(カワボウ)総得点615点となりました。ハイゲームは、9連続ストライクを出し優勝された加納裕二さんの278点でした。ソフトボール大会同様、また来年の参加をお待ちしています。



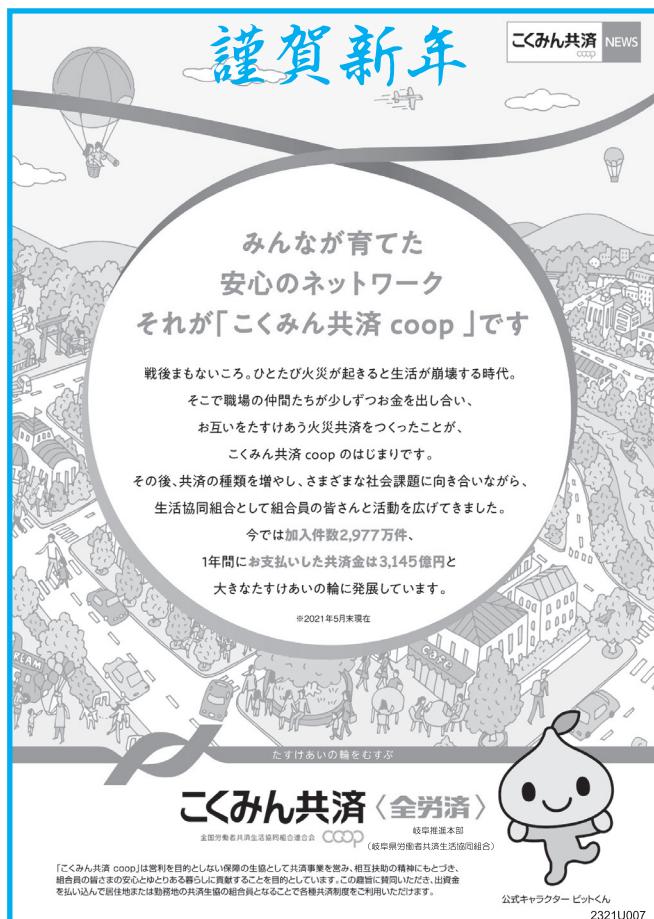
【優勝】
カワボウ労組



【準優勝】
TYK労組



競技会場の様子





ワークプラザ岐阜

無料駐車場80台完備

各種研修や会議、イベント、セミナーなど皆さまの多目的な用途に応じて大小さまざまな研修室を充実した設備とリーズナブルな料金でご用意しております。

〒500-8163 岐阜市鶴舞町2丁目6番地7
 T E L / 058-245-2411 F A X / 058-245-2416
 U R L <http://work-plaza-gifu.lekumo.biz/workplaze/>
 駐車場 / 80台
 休館日 / 12月29日～1月3日

※コロナ対策につき人数制限等あり要相談

会場名	面積(m ²)	収容人数	対策後の人数
大ホール	305.87	210	80
大会議室	131.57	78	25
大会議室	123.62	78	25
中会議室	62.38	36	12
小会議室	404	37.16	8
小会議室	405	(12.5畳)	12
			6

新春のお慶びを申し上げます

東海労働金庫
全労済岐阜推進本部
(一社)岐阜県勤労福祉センター

専務理事 高田 勝之

本部長 内藤 浩

理事長 筒井 和浩

